

【注意事項】

R20TS0495JJ0100

Rev.1.00

2019.10.01 号

RX ファミリ

CAN モジュール Firmware Integration Technology,
 ボードサポートパッケージモジュール Firmware Integration Technology,
 RX Driver Package

概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. 選択型割り込みの設定に関する注意事項

1. 選択型割り込みの設定に関する注意事項

1.1 該当製品

(1) CAN モジュール Firmware Integration Technology (CAN FIT モジュール)

該当するリビジョンとドキュメントは、以下のとおりです。

表 1.1 CAN FIT モジュール該当製品一覧

CAN FIT モジュールのリビジョン	資料番号
Rev.3.10	R01AN2472JU0310

(2) ボードサポートパッケージモジュール Firmware Integration Technology (BSP FIT モジュール)

該当するリビジョンとドキュメントは、以下のとおりです。

表 1.2 BSP FIT モジュール該当製品一覧

BSP FIT モジュールのリビジョン	資料番号
Rev.5.20	R01AN1685JJ0520
Rev.5.21	R01AN1685JJ0521

(3) RX Driver Package

(1)および(2)の CAN FIT および BSP FIT モジュールは、RX Driver Package にも同梱されています。

該当する RX Driver Package の製品名、リビジョンおよび同梱している CAN FIT および BSP FIT モジュールのリビジョンは、以下のとおりです。

表 1.3 CAN FIT および BSP FIT モジュール同梱製品一覧

RX Driver Package の製品名	RX Driver Package のリビジョン	資料番号	同梱している CAN FIT モジュールのリビジョン	同梱している BSP FIT モジュールのリビジョン
RX ファミリ RX Driver Package Ver.1.20	Rev.1.20	R01AN4794JJ0120	Rev.3.00 ^(注)	Rev.5.20
RX ファミリ RX Driver Package Ver.1.22	Rev.1.22	R01AN4873JJ0122	Rev.3.10	Rev.5.20

注：CAN FIT モジュール Rev.3.00 は本注意事項の対象ではありません。

1.2 該当デバイス

- ・ RX72M グループ

1.3 内容および発生条件

BSP FIT モジュールと CAN FIT モジュールを組み合わせる時、“`¥src¥smc_gen¥r_config¥r_bsp_interrupt_config.h`”内の選択型割り込み B に分類された以下の定義 (CAN2 の割り込み要因に対するベクタ番号) をデフォルト (ベクタ番号が未割当て) のままビルドした場合^(注1)、ビルドエラー^(注2)が発生します。

```
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_RXF2
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_TXF2
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_RXM2
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_TXM2
```

注 1：ベクタ番号を割り当てずにビルドした場合、以下の定義が有効化されません。

- ・ VECT_CAN2_TXM2
- ・ IPR_CAN2_TXM2
- ・ VECT_CAN2_RXM2
- ・ IPR_CAN2_RXM2 など

注 2：CC-RX の場合のエラーメッセージは以下のとおりです。

- ・ E0520020:Identifier "VECT_CAN2_TXM2" is undefined
- ・ E0520020:Identifier "IPR_CAN2_TXM2" is undefined
- ・ E0520020:Identifier "VECT_CAN2_RXM2" is undefined
- ・ E0520020:Identifier "IPR_CAN2_RXM2" is undefined

CAN FIT モジュールは、CAN2 の使用有無に関わらず、“R_CAN_Create”関数から呼び出される“config_can_interrupts”関数内において注 1 で示した定義を参照しようとします。しかし、BSP FIT モジュールは注 1 で示した定義を有効化していないため、ビルドエラーが発生します。

1.4 回避策

選択型割り込み B に分類された割り込み要因のうち、使用しない割り込み要因のベクタ番号を削除し、削除したベクタ番号を“r_bsp_interrupt_config.h”内の CAN2 割り込み要因へ割り当ててください。

以下に、割り込み要因 TPU5 を使用しない場合の修正例を示します。

- 修正前（TPU5 を使用しないがベクタ番号あり、CAN2 は使用するがベクタ番号なし）

```
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_TPU5_TGI5A      164
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_TPU5_TGI5B      165
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_TPU5_TCI5V      166
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_TPU5_TCI5U      167
----- ( 中略 ) -----
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN0_RXF0        177
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN0_TXF0        178
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN0_RXM0        179
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN0_TXM0        180
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN1_RXF1        181
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN1_TXF1        182
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN1_RXM1        183
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN1_TXM1        184
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_RXF2
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_TXF2
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_RXM2
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_TXM2
```

- 修正後（使用しない TPU5 のベクタ番号を削除、使用する CAN2 にベクタ番号を移動）

```
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_TPU5_TGI5A
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_TPU5_TGI5B
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_TPU5_TCI5V
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_TPU5_TCI5U
----- ( 中略 ) -----
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN0_RXF0        177
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN0_TXF0        178
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN0_RXM0        179
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN0_TXM0        180
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN1_RXF1        181
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN1_TXF1        182
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN1_RXM1        183
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN1_TXM1        184
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_RXF2        164
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_TXF2        165
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_RXM2        166
#define BSP_MAPPED_INT_CFG_B_VECT_CAN2_TXM2        167
```

1.5 恒久対策

現時点で改修予定はありません。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Oct.01.19	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。